タイトル

世界の中のニッポン

実践場所	神奈川県	横浜市立矢向中学校	実践者	田中　淳一
対　象	中学1・2年生（350名）		時間数	1時間
担当教科	社会科		実践教科	総合学習
ねらい	1時間の講話を通し、「世界」「日本」「アフリカ」「タンザニア」の理解を深める。			

実践内容

回	プログラム	備　考
	中学1・2年生350名を体育館に集め、スライドを使っての講話を行った。 「アフリカ」「タンザニア」を知る前に「日本」について知ってほしいと思い、以下の6つの流れで話を展開した。 （1）　世界の基礎クイズ （2）　すばらしい国ニッポン （3）　戦後からの日本の復興 （4）　アフリカについて （5）　タンザニアについて （6）　世界で活躍する日本人たち （2）の「すばらしい国ニッポン」では、日本が各国の「好感度調査」において常に上位に入る理由をもとに話をした。 （3）の「戦後の日本の復興」では、日本の復興の陰には諸外国からの支援があったこと、そして、東日本大震災の際にも多くの国からの支援があったことを伝えた。 （5）の「タンザニアについて」では、子ども達が頭をひねって考える質問を2つ用意した。「マセイユ村という村が、会議において決定した『いま、一番必要なもの』は何？」「タンザニアの子ども達への『一番大切なものは？』という質問の答えとして、一番多く挙がったものは何？」。後者の質問の正解は「教育を受けること」だったのだが、日本の子ども達にとって大きな驚きだったようである。	

成　果	今回の講演においては、タンザニアで暮らす人たちの生き生きとした姿も伝え、モノの豊かさでは測れぬ「幸せ」についての価値観をゆさぶろうとも考えた。 そこまでの講話になったかは分からないが、子ども達に「世界の中のニッポン」を感じさせることはできたのではないかと思っている。
課　題	様々なことを感じてくれたであろう子ども達の思いを一瞬のものとしないために、今後の継続的な働きかけが大切である。
備　考	

［授業実践の詳細］

中学1・2年生対象の1時間の講話を行うために、事前・事後アンケートを全クラスで実施した。

1 時限目「　アフリカ　アンケート　」(事前アンケート)

1　子どもの活動の流れ

各クラスにおいて、学級担任より下記アンケートを実施した。

この時限のねらい

講話への興味関心を高めるとともに、アンケート結果をもとにした「参加型講話」への布石とする。

アフリカ　アンケート

年　　組　名前

おはようございます。田中です。

来週の福祉講演会にて、昨年の夏に訪問した**「タンザニア連合共和国」**についての話をします。それに向けてのアンケートに協力をしてください。

テストではないので、思ったことを素直に書いてください。

地図帳は見ないように。

Q1　下の地図の中の**アフリカ大陸**を○で囲んでください。

Q2　下の地図の中の**「タンザニア連合共和国」**をぬりつぶしてください。**予想でいいです。**

Q3　**「アフリカ」**と聞いて思い浮かべること(イメージでもいいです)を書いてください。何個書いてもかまいません。・・・(　　　　　　　　　　　　　　　)

Q4　あなたにとって**一番大切なもの**は何ですか？　・・・(　　　　　　　　　　　)

Q5　あなたが**幸せを感じる**のはどんなときですか？　・・・(　　　　　　　　　　　)

Q6　あなたは**何のために勉強**をしていますか？　・・・(　　　　　　　　　　　)

2 時限目 「 世界の中のニッポン 」（講話）

1 子どもの活動の流れ

中学1・2年生（約350名）を体育館に集め、スライド170枚を使い1時間の講話を行った。

「アフリカ」「タンザニア」を知る前に「日本」について知ってほしいと思い、以下の6つの流れで話を展開した。

（１） 世界の基礎クイズ
（２） すばらしい国ニッポン
（３） 戦後からの日本の復興
（４） アフリカについて
（５） タンザニアについて
（６） 世界で活躍する日本人たち

この時限のねらい

タンザニアで暮らす人たちの生き生きとした姿を伝え、モノの豊かさでは測れぬ「幸せ」についての価値観をゆさぶる。

2 子どもの活動の成果・反応

事後アンケートから、生徒の「感想」の抜粋

・国が違えば、考え方も違うんだということを感じました。まずは、自分の国のことをよく知って、他の国に行ったときに説明できるようにしたいです。
・自分の生れた国の文化を伝え、違う国の文化を知るという「文化の違い」を尊重することは大切だと分った。
・日本から見てもタンザニアというのは遠いところで、タンザニアから見ても日本は遠い国。でも、今回のように先生方が代表としてタンザニアに行き子ども達とふれ合うことで、遠い国がだんだん近づいていくように感じた。
・日本はずっと戦争などがなく、毎日あたりまえのように学校に行けるのは、とてもすごいことなんだと思い、私は幸せなんだと感じました。
・将来、海外を旅したいと思った。戦争をしている国がこんなにも多いなんて、同じ人間なのに悲しいことだと思った。

3 使用した教材

スライドで扱ったものの一部を紹介します。

すばらしい国、ニッポン

タンザニアで見たもの

この村が一番に優先したことは？

1、きれいな水を手に入れる
2、すべての家に電気をひく
3、幼稚園をつくる
4、病院をつくる

3 時限目 「 事後アンケートの質問のこたえ 」

1 子どもの活動の流れ

講話後子ども達にアンケートを行い、挙げられた「質問」に返答した。
その内容を紹介します。

この時限のねらい

生徒からの質問に真摯に答えることで、「世界」に対する興味関心をさらに引き出す。

言葉（スワヒリ語）を覚えるのは簡単でしたか？

なかなか覚えられませんでした…。外国に行くのに、「あいさつ」「数字」などの基本的な言葉は覚えたほうがいいでしょう。 なお、英語を話せれば世界の10億人近い人と日常会話ができるとされています。

現地でどれくらいの日本人に会いましたか？

タンザニアに住む日本人は約370名です。その中の数名（青年海外協力隊員）と会うことができました。

タンザニアにいて苦労したこと（大変だったこと）はありますか？

ありません。どんな環境にもすぐに対応できるのが、私のとりえです。

タンザニアで危険を感じたことはありますか？

危険な目にはあいませんでしたが、夜の都心を歩いた時には、現地のガイドさんの警戒度がはねあがっていました。

タンザニアで一番喜びを感じたのはどんな時ですか？

現地の中学校での子ども達の目の輝きにふれた時です。折り紙・歌・書道…伝えたことに大きな興味を持ってくれました。

タンザニアの人々の良い所は何ですか？

タンザニア人は、他のアフリカ人の中でも争い事を嫌い「友好的な民族」であると言われています。10日間、人々がケンカをしているシーンを一度も見ませんでした。

一番驚いたことは何ですか？

道路のわきに野生のキリンが現れた時です。

タンザニアに行った後と前、自分の心の中で変化はありますか？

モノが足りなくとも生き生きと生活をしているタンザニア人とふれ、本当の「豊かさとは何か」を考えるようになりました。

タンザニアの学校では掃除当番などはあるのか？

そうじをしっかりとやっていました。

向こうの人たちと触れ合い、何か学んだことはありますか？

「笑顔で接することの大切さ」です。

言葉も分らないのにどうやって折り紙や書道を教えたのですか？

基本的にはジェスチャー！ 通訳の方もいっしょにいました。

村の中に老人がいなかったけれど、村の中にどれくらいいるんですか？

日本に比べ、お年寄りの割合はだいぶ低いです。タンザニアの良い文化として、とにかく「お年寄りを敬う」。どこに行ってもお年寄りは大事にされていました。

タンザニアの物価は？

都心のスーパーで日本の半額ほど。田舎に行くと、日本の20分の1程度で買えます。ただし、観光客用のお土産屋さんなどは、日本とほとんど変わりません。

お金の単位は何ですか？

「シリング」

日本のお金はタンザニアで使えますか？

使えません。両替はできます。

☆ここで、問題！両替屋では、高額紙幣のほうが低額紙幣よりも交換レートが良い。（日本で言えば、1万円札1枚をドルに換えるほうが、千円札10枚をドルに換えるよりも多くのドルをもらうことができる。同じ1万円なのに・・・）　それはなぜ？　担任の先生に聞いてみよう！

病院はありますか？

ありますが、医療技術は日本よりかなり低いです。マラリア（蚊にさされて感染する病気）で家族を亡くしたタンザニア人と多く出会いました。

タンザニアで「義務教育」はないのですか？

義務教育は小学校のみで7年間。そこから先はテストに合格しないとすすめません。日本でいう中学校が4年間。高校が3年間。そして大学。中学校以降は英語で授業が行われます。

小学校が義務教育とはいっても、私が訪れた小学校の登校率は80％くらい。学校に通わず働いている小学生も多くいるのが現実です。

日本のマンガやアニメはあるんですか？

本屋にはありませんでした。

日本料理の専門店はありますか？

都心に1件だけあります。行きましたが、日本と変わらぬ味でした。ただし、日本で食べるより高い！

一番おいしかった食べ物は何ですか？

浜辺で食べた、できたてのタコのから揚げ。

どの景色が一番印象に残っていますか？

インド洋からのぼる朝日。　サバンナの夕陽。バオバブの木が不思議な感じでした。

有名なスポーツは何ですか？

サッカー人口が一番多いです。独特のリズムのダンスを踊っていました。

タンザニアに祝日はありますか？

18日あります。日本は15日。

一夫多妻制なんですか？

4人まで妻がいてもいいそうです。が、ほとんどの人が妻は1人。妻をもらうのに、相手に牛一頭をプレゼントしなければならないためで、複数の妻がいる人はほとんどがお金持ち。

村のリーダーをどうやって育てたか知りたい。

日本からの援助の変化…「お金→人の育成」　リーダーの育成においても、多くの日本人が貢献しています。

タンザニアの気候は？

場所によって大きく異なりますが、私の行ったダル・エス・サラームは、1年を通して平均気温が25度以上。湿度も高く、3～5 月が大雨期、11～12 月が小雨期となっています。

普段の服装は？

半そで・短パンですが、汗をかいた記憶がない！　やはり、日本の夏は暑すぎる・・・。

野生の動物と触れ合うことはできましたか？

野生動物は政府によって手厚く保護されています。車から見ることはできても、触れ合うことはできません。

小学校などの設備に対し、幼稚園の設備が少ないのはなぜですか？

教育にまわせる予算（お金）がまだまだ少ないからです。青空の下で授業を受けていた子どもの姿を覚えていますか？

タンザニアで起きた最後の戦争は？

1978年のタンザニア・ウガンダ戦争以降、幸いにも平和が保たれています。

スマホはタンザニアにありますか？

売られているのを見ていませんが、近い将来普及していくのはまちがいないと思います。

アフリカでは、まだ内戦をしている国はありますか？

今、報道されているのは「南スーダン」「中央アフリカ」という国。現在も6000人あまりの「少年兵」が存在します。

タンザニアの名前の由来は何ですか？

タンガニーカ・ザンジバル連合共和国の名称とアザニア文化の名称を複合して「タンザニア（連合共和国）」になったそうです。

日本が国として認めていない国は、どこですか？

北朝鮮・台湾・パレスチナなどです。

人の命を救うことは、自分のためにもなりますか？

「情けは人のためならず」という言葉の意味を調べてみてください。

以上